

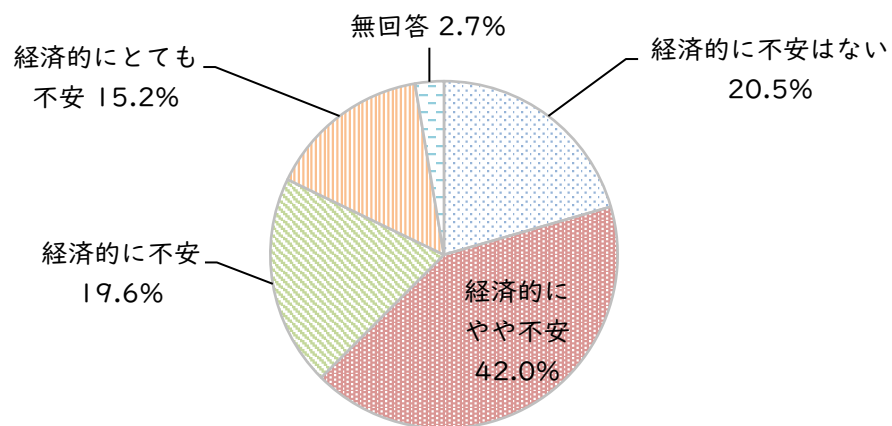
2 加入者アンケートの調査結果概要

2-1 自治会加入者の暮らしの概要

2-1-1 生活に対する経済的不安度（各市町共通 問8, SA）

回答者の生活に対する経済的不安度は、やや不安が4割超で最も多かった。

図.表 2-1-1 生活に対する経済的不安度（n=112）

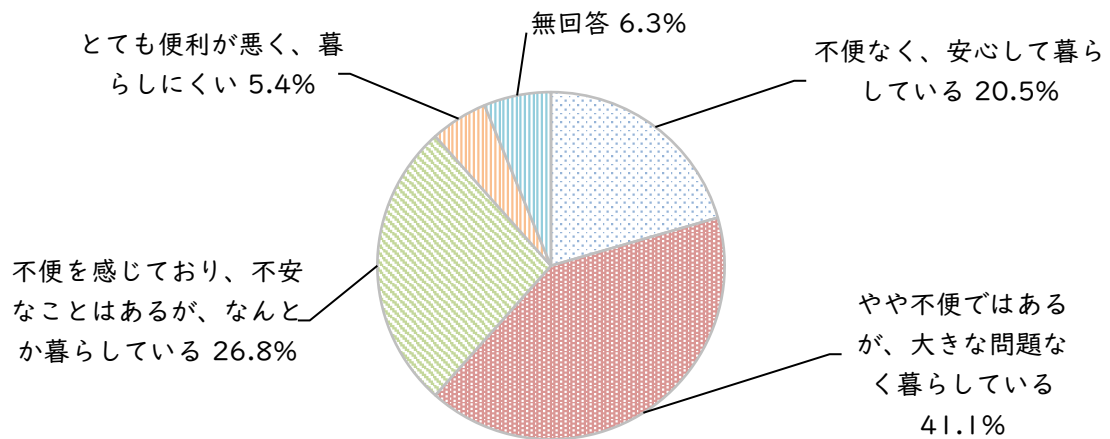


	全体	度数	割合 (%)
1	経済的に不安はない	23	20.5
2	経済的にやや不安	47	42.0
3	経済的に不安	22	19.6
4	経済的にとても不安	17	15.2
	無回答	3	2.7

2-1-2 自治会内の暮らしへの総不便体感度（各市町共通 問 9, SA）

回答者の暮らしへの総不便体感度は、やや不便であるが、大きな問題なく暮らしているが4割超で最も多かった。

図.表 2-1-2 暮らしへの総不便体感度（n=112）

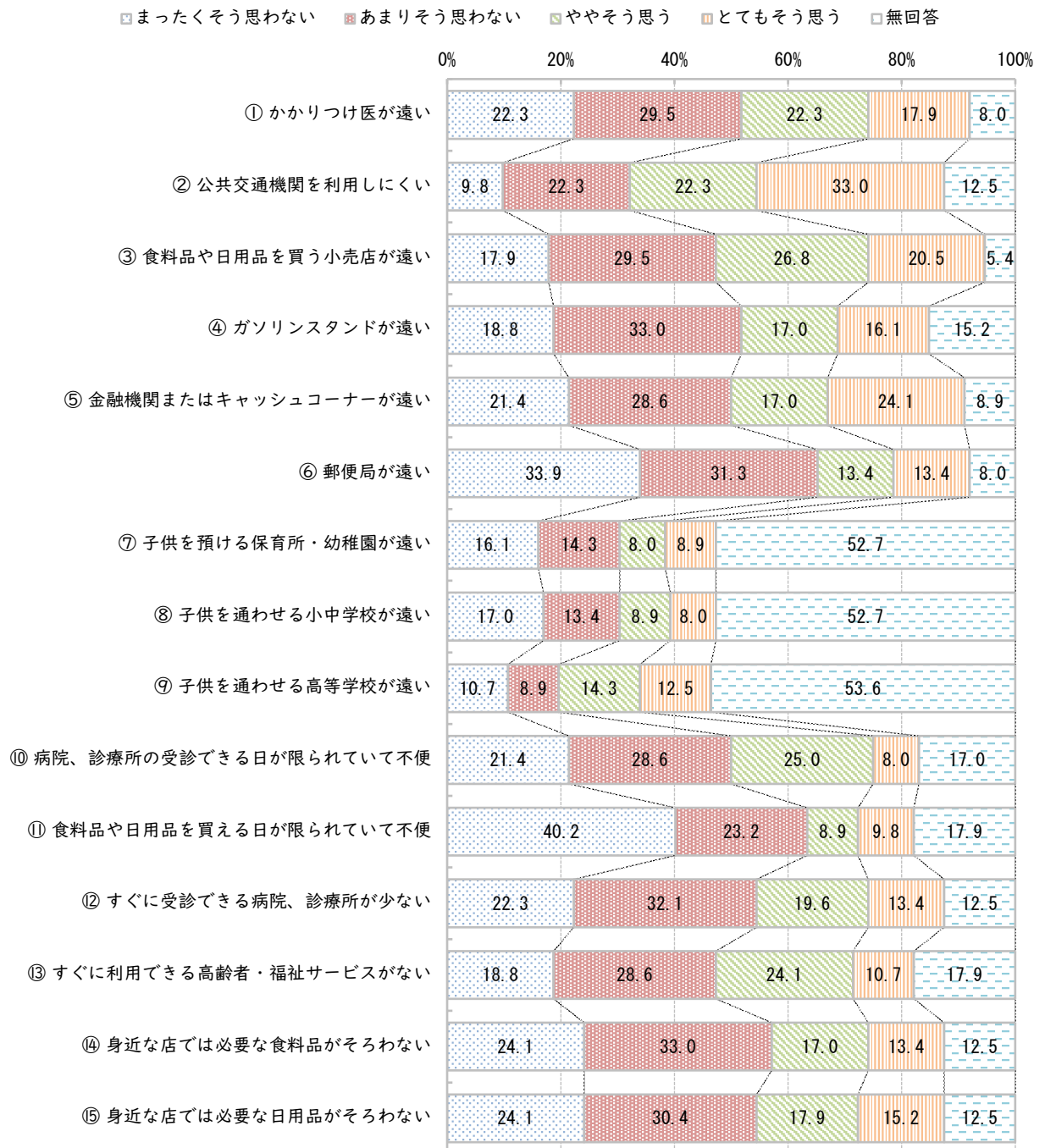


	全体	度数	割合 (%)
1	不便なく、安心して暮らしている	23	20.5
2	やや不便ではあるが、大きな問題なく暮らしている	46	41.1
3	不便を感じており、不安なことはあるが、なんとか暮らしている	30	26.8
4	とても便利が悪く、暮らしにくい	6	5.4
	無回答	7	6.3

2-1-3 自治会内の暮らしに関する項目ごとの不便度（各市町共通 問10, SA）

自治会内の暮らしに関する不便度について、項目ごとに不便を高く感じる順に順序尺度で尋ねた結果は次のとおり。

図.表 2-1-3 暮らしに関する項目ごとの不便度（n=112）



	まったく そう思わ ない	あまりそ う思わな い	ややそう 思う	とてもそ う思う	無回答
① かかりつけ医が遠い	25 22.3	33 29.5	25 22.3	20 17.9	9 8.0
② 公共交通機関を利用しにくい	11 9.8	25 22.3	25 22.3	37 33.0	14 12.5
③ 食料品や日用品を買う小売店が 遠い	20 17.9	33 29.5	30 26.8	23 20.5	6 5.4
④ ガソリンスタンドが遠い	21 18.8	37 33.0	19 17.0	18 16.1	17 15.2
⑤ 金融機関またはキャッシュコー ナーが遠い	24 21.4	32 28.6	19 17.0	27 24.1	10 8.9
⑥ 郵便局が遠い	38 33.9	35 31.3	15 13.4	15 13.4	9 8.0
⑦ 子供を預ける保育所・幼稚園が 遠い	18 16.1	16 14.3	9 8.0	10 8.9	59 52.7
⑧ 子供を通わせる小中学校が遠い	19 17.0	15 13.4	10 8.9	9 8.0	59 52.7
⑨ 子供を通わせる高等学校が遠い	12 10.7	10 8.9	16 14.3	14 12.5	60 53.6
⑩ 病院、診療所の受診できる日が 限られていて不便	24 21.4	32 28.6	28 25.0	9 8.0	19 17.0
⑪ 食料品や日用品を買える日が限 られていて不便	45 40.2	26 23.2	10 8.9	11 9.8	20 17.9
⑫ すぐに受診できる病院、診療所 が少ない	25 22.3	36 32.1	22 19.6	15 13.4	14 12.5
⑬ すぐに利用できる高齢者・福祉 サービスがない	21 18.8	32 28.6	27 24.1	12 10.7	20 17.9
⑭ 身近な店では必要な食料品がそ ろわない	27 24.1	37 33.0	19 17.0	15 13.4	14 12.5
⑮ 身近な店では必要な日用品がそ ろわない	27 24.1	34 30.4	20 17.9	17 15.2	14 12.5

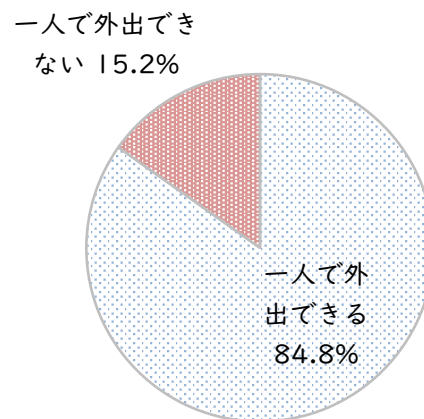
上段は度数、下段は割合（％）

2-2 自治会加入者の外出の概要

2-2-1 単独外出の可否（各市町共通 問11, SA）

回答者の8割超が単独外出できると答えた。

図.表 2-2-1 単独外出の可否（n=112）

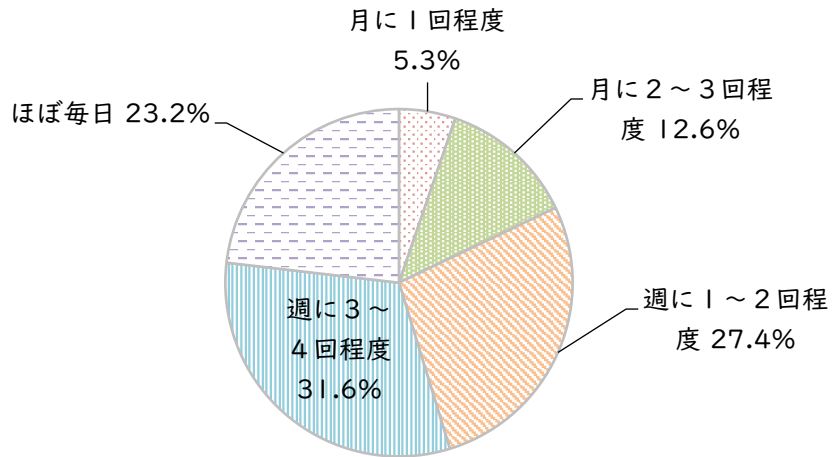


	全体	度数	割合 (%)
1	一人で外出できる	95	84.8
2	一人で外出できない	17	15.2

2-2-2 外出の頻度（各市町共通 問12, SA）

回答者の外出の頻度は、週に3～4回程度が3割超で最も多かった。

図.表 2-2-2 外出の頻度（n=95）



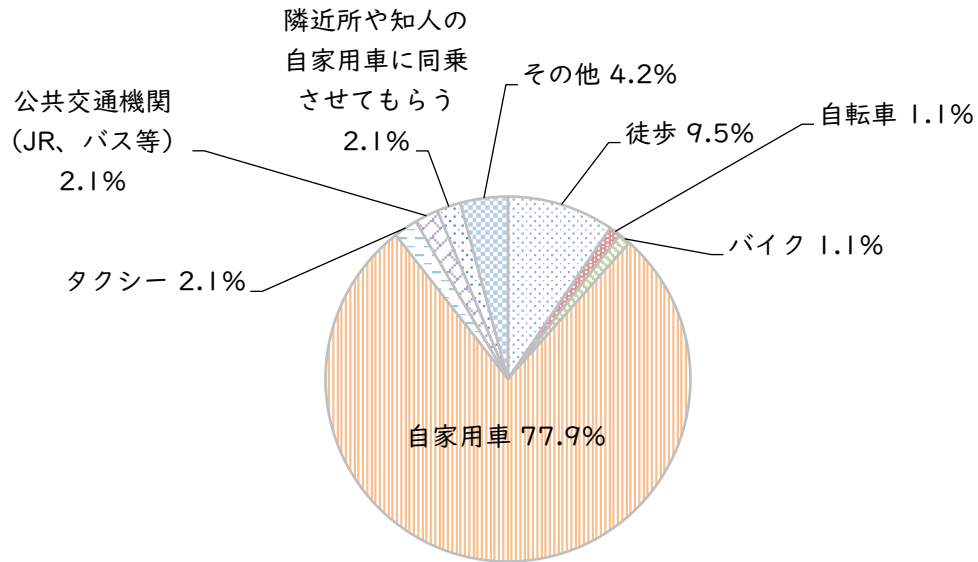
	全体	度数	割合 (%)
1	ほとんど外出しない	0	0.0
2	月に1回程度	5	5.3
3	月に2～3回程度	12	12.6
4	週に1～2回程度	26	27.4
5	週に3～4回程度	30	31.6
6	ほぼ毎日	22	23.2

2-2-3 外出の手段（各市町共通 問13, SA）

回答者の外出の手段は、8割弱が自家用車で、徒歩が1割弱だった。

その他には、「子供」や「夫」といった家族の手伝いを連想させる記述があった。

図.表 2-2-3 外出の手段（n=95）



	全体	度数	割合 (%)
1	徒歩	9	9.5
2	自転車	1	1.1
3	バイク	1	1.1
4	自家用車	74	77.9
5	タクシー	2	2.1
6	公共交通機関（JR、バス等）	2	2.1
7	隣近所や知人の自家用車に同乗させてもらう	2	2.1
8	その他	4	4.2

2-2-4 外出できない理由（各市町共通 問14, SA）

外出できない理由を項目ごとに、当てはまる順に高くなる順序尺度で尋ねた結果は次のとおり。

表 2-2-4 外出できない理由（n=17）

	全体	まったく 当てはま らない	どちらか といえば 当てはま らない	どちらか といえば 当てはま る	とても当 てはまる	無回答
① そもそも外出する理由がない	17	5 29.4	2 11.8	1 5.9	4 23.5	5 29.4
② 高齢のため外出が億劫（おっくう）	17	3 17.6	2 11.8	3 17.6	8 47.1	1 5.9
③ 健康上の理由で外出が困難	17	1 5.9	4 23.5	2 11.8	8 47.1	2 11.8
④ 経済的理由で外出が困難	17	6 35.3	4 23.5	1 5.9	3 17.6	3 17.6
⑤ 近くに手助けしてくれる親族がいない	17	5 29.4	2 11.8	2 11.8	6 35.3	2 11.8
⑥ 手助けしてくれる隣人がいない	17	5 29.4	1 5.9	2 11.8	7 41.2	2 11.8
⑦ 公共交通機関が不便	17	2 11.8	0 0.0	0 0.0	12 70.6	3 17.6
⑧ 公的サービスの利用が不便	17	2 11.8	2 11.8	1 5.9	9 52.9	3 17.6

上段は度数、下段は割合（％）

2-2-5 その他外出できない理由（各市町共通 問15, 自由記述）

問14の回答項目以外、単独外出できないその他の理由を自由記述方式で聞いた結果は次のとおり。

- ・ 左半身不随
- ・ 足が悪い
- ・ 持病があり、夫の支えが無いと外出できない
- ・ 歩行が困難で一人での外出ができない
- ・ 体の調子が悪いので一人では歩かないようにしている

2-3 暮らしにお困りの方向け支援やサービス

2-3-1 生活や買物・外出の支援・サービスの認知度・希望度（各市町別 問16, SA）
各市町の生活や買物・外出の支援・サービスの認知度と希望度は、次のとおり。

（1）霧島市

表 2-3-1-(1) 霧島市のサービス・支援の認知度・希望度（n=29）

	全体	サービスを 知らない	サービスを 知っている	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	29	16 55.2	9 31.0	4 13.8
②買物支援サービス（配達）	29	13 44.8	12 41.4	4 13.8
③買物支援サービス（買物代行）	29	16 55.2	9 31.0	4 13.8
④買物支援サービス（ネットスーパー）	29	12 41.4	12 41.4	5 17.2
⑤移動支援サービス（コミュニティバスサービス）	29	11 37.9	14 48.3	4 13.8
⑥移動支援サービス（乗り合いタクシーサービス）	29	11 37.9	13 44.8	5 17.2
⑦訪問型サービス（生活支援） ※家事代行、訪問給食、外出支援など	29	9 31.0	16 55.2	4 13.8

上段は度数、下段は割合（％）

	全体	利用したい と思う	どちらとも 言えない	利用したい と思わない	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	29	5 17.2	9 31.0	10 34.5	5 17.2
②買物支援サービス（配達）	29	6 20.7	9 31.0	9 31.0	5 17.2
③買物支援サービス（買物代行）	29	4 13.8	9 31.0	10 34.5	6 20.7
④買物支援サービス（ネットスーパー）	29	4 13.8	9 31.0	10 34.5	6 20.7
⑤移動支援サービス（コミュニティバスサービス）	29	6 20.7	7 24.1	11 37.9	5 17.2
⑥移動支援サービス（乗り合いタクシーサービス）	29	6 20.7	7 24.1	10 34.5	6 20.7
⑦訪問型サービス（生活支援） ※家事代行、訪問給食、外出支援など	29	5 17.2	9 31.0	10 34.5	5 17.2

上段は度数、下段は割合（％）

(2) 伊佐市

表 2-3-1-(2) 伊佐市のサービス・支援の認知度・希望度 (n=35)

	全体	サービスを 知らない	サービスを 知っている	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	35	6 17.1	24 68.6	5 14.3
②買物支援サービス（配達）	35	10 28.6	17 48.6	8 22.9
③買物支援サービス（買物代行）	35	13 37.1	13 37.1	9 25.7
④買物支援サービス（ネットスーパー）	35	18 51.4	7 20.0	10 28.6
⑤移動支援サービス（コミュニティバスサービス）	35	13 37.1	14 40.0	8 22.9
⑥移動支援サービス（乗り合いタクシーサービス）	35	13 37.1	13 37.1	9 25.7
⑦訪問型サービス（生活支援） ※家事代行、訪問給食、外出支援など	35	9 25.7	18 51.4	8 22.9

上段は度数、下段は割合（％）

	全体	利用したい と思う	どちらとも 言えない	利用したい と思わない	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	35	12 34.3	9 25.7	10 28.6	4 11.4
②買物支援サービス（配達）	35	6 17.1	10 28.6	11 31.4	8 22.9
③買物支援サービス（買物代行）	35	5 14.3	10 28.6	11 31.4	9 25.7
④買物支援サービス（ネットスーパー）	35	4 11.4	10 28.6	13 37.1	8 22.9
⑤移動支援サービス（コミュニティバスサービス）	35	5 14.3	12 34.3	9 25.7	9 25.7
⑥移動支援サービス（乗り合いタクシーサービス）	35	7 20.0	11 31.4	7 20.0	10 28.6
⑦訪問型サービス（生活支援） ※家事代行、訪問給食、外出支援など	35	7 20.0	11 31.4	8 22.9	9 25.7

上段は度数、下段は割合（％）

(3) 始良市

表 2-3-1-(3) 始良市のサービス・支援の認知度・希望度 (n=21)

	全体	サービスを 知らない	サービスを 知っている	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	21	15 71.4	5 23.8	1 4.8
②買物支援サービス（配達）	21	13 61.9	6 28.6	2 9.5
③買物支援サービス（ネットスーパー）	21	10 47.6	9 42.9	2 9.5
④移動支援サービス（コミュニティバス）	21	11 52.4	8 38.1	2 9.5
⑤移動支援サービス（乗り合いタクシー）	21	14 66.7	4 19.0	3 14.3
⑥移動支援サービス（交通費助成） ※健康チケットあいあい など	21	14 66.7	5 23.8	2 9.5

上段は度数、下段は割合（％）

	全体	利用したい と思う	どちらとも 言えない	利用したい と思わない	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	21	4 19.0	8 38.1	8 38.1	1 4.8
②買物支援サービス（配達）	21	5 23.8	6 28.6	8 38.1	2 9.5
③買物支援サービス（ネットスーパー）	21	3 14.3	4 19.0	12 57.1	2 9.5
④移動支援サービス（コミュニティバス）	21	3 14.3	7 33.3	9 42.9	2 9.5
⑤移動支援サービス（乗り合いタクシー）	21	3 14.3	6 28.6	10 47.6	2 9.5
⑥移動支援サービス（交通費助成） ※健康チケットあいあい など	21	7 33.3	5 23.8	7 33.3	2 9.5

上段は度数、下段は割合（％）

(4) 湧水町

表 2-3-1-(4) 湧水町のサービス・支援の認知度・希望度 (n=27)

	全体	サービスを 知らない	サービスを 知っている	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	27	12 44.4	12 44.4	3 11.1
②買物支援サービス（配達）	27	12 44.4	12 44.4	3 11.1
③買物支援サービス（買物代行）	27	15 55.6	9 33.3	3 11.1
④買物支援サービス（ネットスーパー）	27	18 66.7	6 22.2	3 11.1
⑤移動支援サービス（交通費助成）	27	17 63.0	7 25.9	3 11.1
⑥訪問型サービス（生活支援） ※家事代行、訪問給食、外出支援 など	27	12 44.4	12 44.4	3 11.1

上段は度数、下段は割合（％）

	全体	利用したい と思う	どちらとも 言えない	利用したい と思わない	無回答
①買物支援サービス（移動販売）	27	3 11.1	8 29.6	11 40.7	5 18.5
②買物支援サービス（配達）	27	1 3.7	9 33.3	12 44.4	5 18.5
③買物支援サービス（買物代行）	27	0 0.0	8 29.6	14 51.9	5 18.5
④買物支援サービス（ネットスーパー）	27	0 0.0	7 25.9	15 55.6	5 18.5
⑤移動支援サービス（交通費助成）	27	1 3.7	9 33.3	12 44.4	5 18.5
⑥訪問型サービス（生活支援） ※家事代行、訪問給食、外出支援 など	27	1 3.7	9 33.3	12 44.4	5 18.5

上段は度数、下段は割合（％）

2-3-2 生活や買物・外出の支援・サービスの非利用理由（各市町共通 問17, SA）

4市町内で提供される生活や買物・外出の支援・サービスの利用について、「どちらとも言えない」「思わない」と答えた調査回答者の理由を当てはまる順に高くなる順序尺度で尋ねた結果は次のとおり。

(1) 4市町全体

表 2-3-2-(1) 4市町の回答者の生活や買物・外出の支援・サービスの非利用理由
(n=103)

	全体	まったく当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	とても当てはまる	無回答
① そもそも利用する理由がない	103	18 17.5	21 20.4	14 13.6	14 13.6	36 35.0
② 高齢のためサービスを受けるのが億劫（おっくう）	103	34 33.0	18 17.5	11 10.7	6 5.8	34 33.0
③ 健康上の理由で受けるのが困難	103	41 39.8	14 13.6	8 7.8	6 5.8	34 33.0
④ 経済的理由で受けるのが困難	103	36 35.0	16 15.5	10 9.7	5 4.9	36 35.0
⑤ 受けるために手助けしてくれる親族が近くにいない	103	37 35.9	15 14.6	9 8.7	8 7.8	34 33.0
⑥ 受けるために手助けしてくれる隣人がいない	103	35 34.0	19 18.4	7 6.8	7 6.8	35 34.0
⑦ サービスの利用方法が不便	103	26 25.2	15 14.6	17 16.5	12 11.7	33 32.0

上段は度数、下段は割合（％）

(2) 霧島市

表 2-3-2-(2) 霧島市の回答者の生活や買物・外出の支援・サービスの非利用理由
(n=27)

	全体	まったく 当てはま らない	どちらか といえ ば当ては まらない	どちらか といえ ば当ては まる	とても当 てはまる	無回答
① そもそも利用する理由がない	27	3 11.1	7 25.9	4 14.8	4 14.8	9 33.3
② 高齢のためサービスを受けるのが億劫 (おっくう)	27	9 33.3	8 29.6	0 0.0	1 3.7	9 33.3
③ 健康上の理由で受けるのが困難	27	11 40.7	6 22.2	0 0.0	1 3.7	9 33.3
④ 経済的理由で受けるのが困難	27	8 29.6	5 18.5	3 11.1	1 3.7	10 37.0
⑤ 受けるために手助けしてくれる親族が 近くにいない	27	10 37.0	4 14.8	3 11.1	1 3.7	9 33.3
⑥ 受けるために手助けしてくれる隣人が いない	27	8 29.6	7 25.9	2 7.4	1 3.7	9 33.3
⑦ サービスの利用方法が不便	27	8 29.6	2 7.4	4 14.8	3 11.1	10 37.0

上段は度数、下段は割合(%)

(3) 伊佐市

表 2-3-2-(3) 伊佐市の回答者の生活や買物・外出の支援・サービスの非利用理由
(n=31)

	全体	まったく 当てはま らない	どちらか といえ ば当ては まらない	どちらか といえ ば当ては まる	とても当 てはまる	無回答
① そもそも利用する理由がない	31	4 12.9	5 16.1	4 12.9	4 12.9	14 45.2
② 高齢のためサービスを受けるのが億劫 (おっくう)	31	7 22.6	3 9.7	5 16.1	2 6.5	14 45.2
③ 健康上の理由で受けるのが困難	31	10 32.3	3 9.7	1 3.2	3 9.7	14 45.2
④ 経済的理由で受けるのが困難	31	9 29.0	5 16.1	2 6.5	1 3.2	14 45.2
⑤ 受けるために手助けしてくれる親族が 近くにいない	31	9 29.0	4 12.9	2 6.5	2 6.5	14 45.2
⑥ 受けるために手助けしてくれる隣人が いない	31	9 29.0	4 12.9	1 3.2	2 6.5	15 48.4
⑦ サービスの利用方法が不便	31	4 12.9	3 9.7	6 19.4	4 12.9	14 45.2

上段は度数、下段は割合(%)

(4) 始良市

表 2-3-2-(4) 始良市の回答者の生活や買物・外出の支援・サービスの非利用理由
(n=18)

	全体	まったく 当てはま らない	どちらか といえは 当てはま らない	どちらか といえは 当てはま る	とても当 てはまる	無回答
① そもそも利用する理由がない	18	3 16.7	3 16.7	4 22.2	4 22.2	4 22.2
② 高齢のためサービスを受けるのが億劫 (おっくう)	18	5 27.8	3 16.7	3 16.7	3 16.7	4 22.2
③ 健康上の理由で受けるのが困難	18	5 27.8	3 16.7	5 27.8	2 11.1	3 16.7
④ 経済的理由で受けるのが困難	18	7 38.9	3 16.7	2 11.1	2 11.1	4 22.2
⑤ 受けるために手助けしてくれる親族が 近くにいない	18	6 33.3	4 22.2	3 16.7	2 11.1	3 16.7
⑥ 受けるために手助けしてくれる隣人が いない	18	6 33.3	4 22.2	3 16.7	2 11.1	3 16.7
⑦ サービスの利用方法が不便	18	5 27.8	3 16.7	4 22.2	3 16.7	3 16.7

上段は度数、下段は割合(%)

(5) 湧水町

表 2-3-2-(5) 湧水町の回答者の生活や買物・外出の支援・サービスの非利用理由
(n=27)

	全体	まったく 当てはま らない	どちらか といえは 当てはま らない	どちらか といえは 当てはま る	とても当 てはまる	無回答
① そもそも利用する理由がない	27	8 29.6	6 22.2	2 7.4	2 7.4	9 33.3
② 高齢のためサービスを受けるのが億劫 (おっくう)	27	13 48.1	4 14.8	3 11.1	0 0.0	7 25.9
③ 健康上の理由で受けるのが困難	27	15 55.6	2 7.4	2 7.4	0 0.0	8 29.6
④ 経済的理由で受けるのが困難	27	12 44.4	3 11.1	3 11.1	1 3.7	8 29.6
⑤ 受けるために手助けしてくれる親族が 近くにいない	27	12 44.4	3 11.1	1 3.7	3 11.1	8 29.6
⑥ 受けるために手助けしてくれる隣人が いない	27	12 44.4	4 14.8	1 3.7	2 7.4	8 29.6
⑦ サービスの利用方法が不便	27	9 33.3	7 25.9	3 11.1	2 7.4	6 22.2

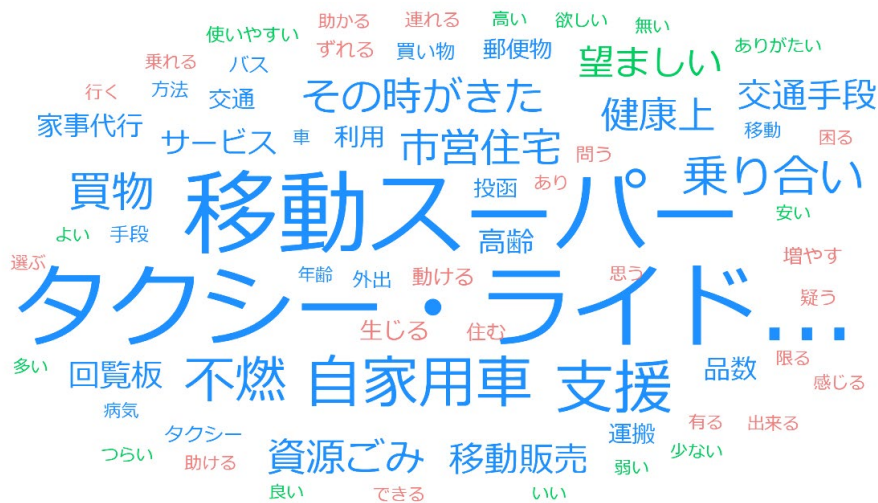
上段は度数、下段は割合(%)

回答者が望む、困っている方向けの生活や買物・外出の支援・サービスの自由記述をユーザーローカル人工知能（AI）テキストマイニング(<https://textmining.userlocal.jp/>)で分析した結果は次のとおり。「買物」や「買物」といった同じ意味をなすと考えられるものについては、調査実施者でまとめ、or を付記して表に記載した。

望ましいお困りの方向け支援・サービスの自由記述の頻出単語（名詞）

品詞	単語	出現数	品詞	単語	出現数
名詞	支援	8	名詞	乗り合い	1
名詞	買い物or買物	7	名詞	家事代行	1
名詞	サービス	6	名詞	ワゴン	1
名詞	バス	4	名詞	ネットワーク	1
名詞	自家用車	4	名詞	送迎	1
名詞	交通手段or交通	4	名詞	ドラッグストア	1
名詞	外出	3	名詞	介護	1
名詞	高齢or高齢者	3	名詞	階段	1
名詞	タクシー	3	名詞	地域	1
名詞	病気or健康	3	名詞	ネット	1
名詞	移動スーパーor移動販売	2	名詞	スマホ	1
名詞	受診or通院	2	名詞	友達	1

全文を可視化した画像は次のとおり。なお文字の大きさは、重要度を示すスコア順を示しており、単語同士の近さは出現傾向の類似性を示している。



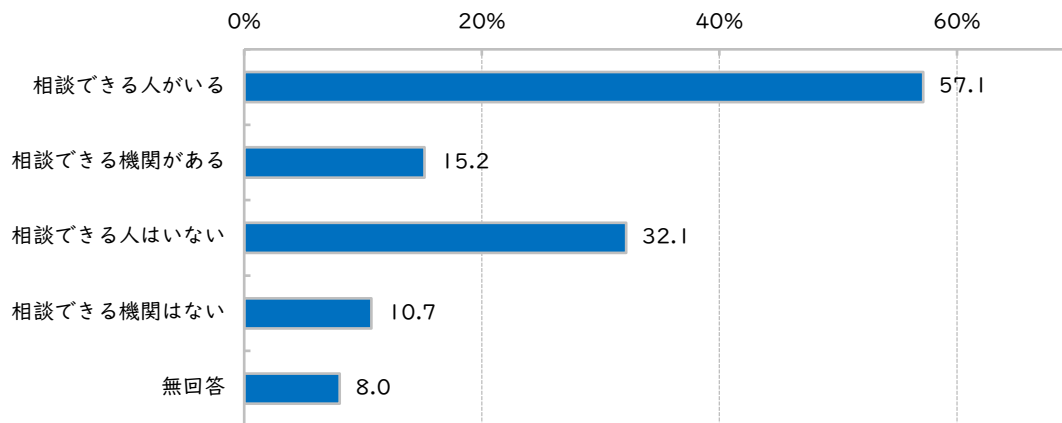
2-4 暮らしの相談者・相談機関

2-4-1 暮らしの相談者・相談機関の有無（各市町共通 問19, MA・自由記述）

回答者の暮らしに関する相談は、相談できる人がいると答えた人が6割弱で最も多かった一方で、相談できる人はいないと答えた人が3割いた。

図.表 2-4-1 相談者・相談機関の有無（n=112）

	全体	度数	割合（%）
1	相談できる人がいる	64	57.1
2	相談できる機関がある	17	15.2
3	相談できる人はいない	36	32.1
4	相談できる機関はない	12	10.7
	無回答	9	8.0



相談できる人がいると答えた人が挙げた具体例の自由記述をユーザーローカル人工知能 (AI) テキストマイニング (<https://textmining.userlocal.jp/>) で分析した結果は次のとおり。「友人」「友達」といった同じ意味をなすと考えられるものについては、調査実施者でまとめ、or を付記して表に記載した。

相談できる人の具体例の自由記述の頻出単語（名詞）					
品詞	単語	出現回数	品詞	単語	出現回数
名詞	子供or親族	30	名詞	ケアマネージャー	1
名詞	友人or友達	25	名詞	代表者	1
名詞	自治会長	6	名詞	市役所	1
名詞	自治会or集落	6	名詞	グループ	1
名詞	知人	5	名詞	仲間	1
名詞	民生委員	4	名詞	病院	1
名詞	近所or隣人	4	名詞	先生	1
名詞	主人	2			

出現数1は調査に関係が強いと推認されるものを調査受託者で抽出

相談できる機関があると答えた人が挙げた具体例の自由記述の主なものは次のとおり。

- ・ 大口地域包括支援センター
- ・ 民生委員，自治会長
- ・ 役場，地域の包括センター
- ・ 湧水町，社協，包括支援課
- ・ 湧水町健康増進課，福祉課
- ・ 霧島市福祉課
- ・ 市役所
- ・ 市役所の子育て支援課，障害福祉課
- ・ 相談する機関があれば相談したい

2-4-2 生活や外出で困った際の対処法（各市町共通 問 20，自由記述）

回答者が普段の暮らしや買物・外出で困った際の対処法を自由記述で聞いた主なものは次のとおり。

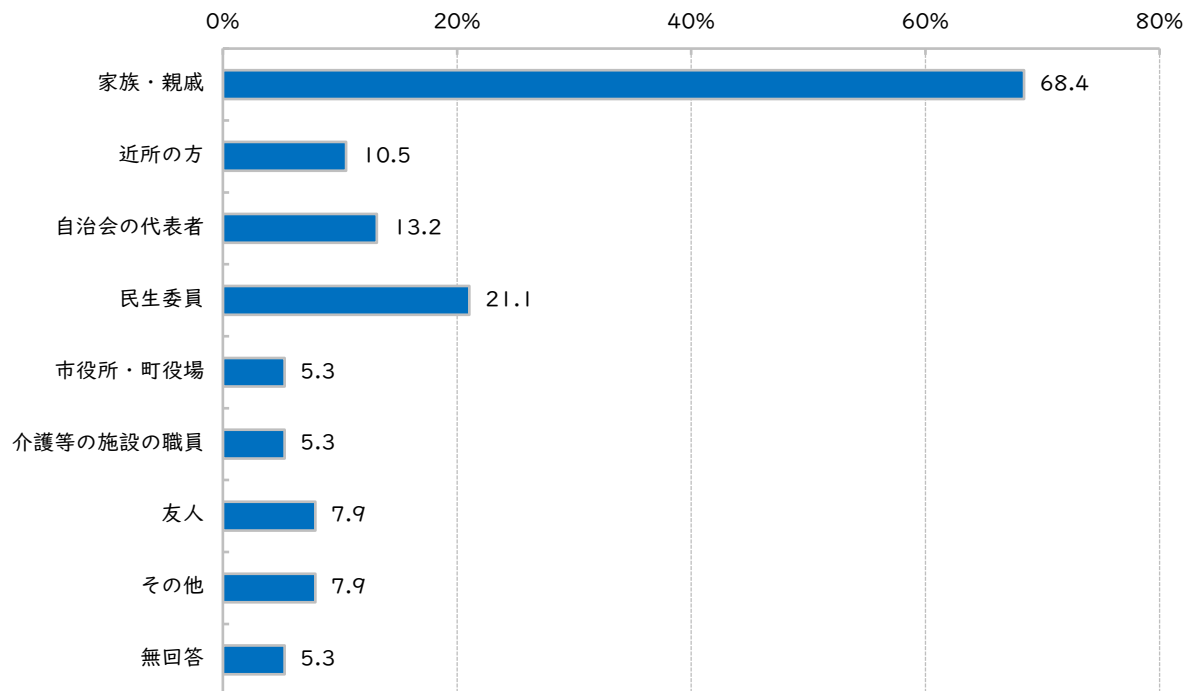
- ・ プライベートな件なので他人には相談はチョットとなる。同じ町内に長男，長女夫婦がいるので安心。
- ・ 自分で行く。
- ・ 今後困った事が起こった時は自治会の区長さんに相談する。
- ・ 隣に娘がいます。
- ・ 家族がいる。
- ・ 妻にお願いしております。
- ・ 今は自家用車を使っています。
- ・ どのようにしたら良いのかわからない。その辺の人に聞いたり相談すると思う。こわい，さびしいです。
- ・ 今は自分で出来るので良いが年を重ねるごとに不安は残る。
- ・ 買物，外出に限って言えばタクシーを使います。
- ・ 団地の人には相談できない。人の悪口，うわさを言う人がいる。昔からいじわるされる。
- ・ 娘が市内（鹿児島）から休日に帰宅したときに出来るだけのことをしてもらう。
- ・ 最悪な状態，自己で解決出来ないことは身近に居る店員，親族と電話してもらい対応を依頼する。
- ・ 1人住まいなので家の事（水道，屋根の事）とかいろいろ困っているときは近所に同じ境遇の方を見つけて相談するようにしています。
- ・ 困らないように家族に相談している。
- ・ ヘルパーに頼む。

2-4-3 暮らして困った際の相談希望者・希望機関（各市町共通 問21，MA）

回答者が普段の暮らしや買物・外出で困った際に相談したい人や機関は、家族・親戚が7割弱で、民生委員が続いた。

その他の回答には、「今他人に頼りたくないので困り果てています」「近所に相談できる人がいない」「誰に相談したらいいかわからない」との記述があった。

図.表 2-4-3 暮らして困った際の相談希望者・希望機関（n=38）



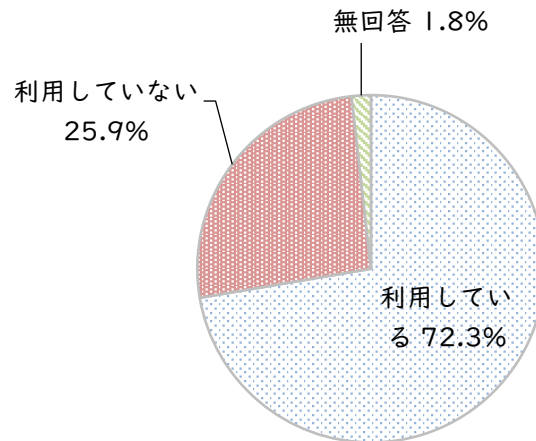
	全体	度数	割合 (%)
1	家族・親戚	26	68.4
2	近所の方	4	10.5
3	自治会の代表者	5	13.2
4	民生委員	8	21.1
5	市役所・町役場	2	5.3
6	介護等の施設の職員	2	5.3
7	友人	3	7.9
8	その他	3	7.9
	無回答	2	5.3

2-5 情報通信機器の利用状況

2-5-1 情報通信機器の利用有無（各市町共通 問 22, SA）

回答者の7割超が、情報通信機器を利用していると答えた。

図.表 2-5-1 情報通信機器の利用有無（n=112）



	全体	度数	割合 (%)
1	利用している	81	72.3
2	利用していない	29	25.9
	無回答	2	1.8

調査回答者の情報通信機器の利用有無と年代のクロス表は次のとおり。

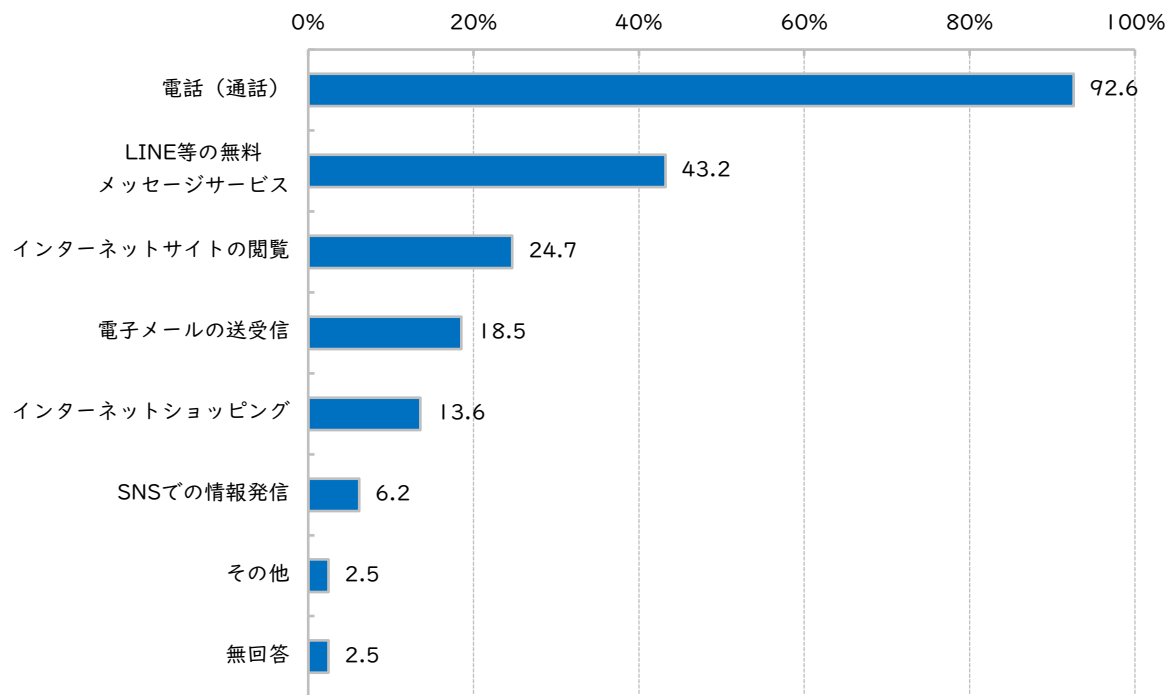
	全体	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	無回答
全体	112	0	0	1	7	17	33	42	9	3
利用している	81 72.3	0 0.0	0 0.0	1 100.0	7 100.0	15 88.2	28 84.8	25 59.5	4 44.4	1 33.3
利用していない	29 25.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	4 12.1	17 40.5	5 55.6	1 33.3
無回答	2 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

上段は度数、下段は割合 (%)

2-5-2 情報通信機器の利用目的（各市町共通 問 23, MA）

回答者の9割超が、電話（通話）を利用、4割がLINE等の無料メッセージサービスを利用目的にしていると答えた。

表 2-5-2 情報通信機器の利用目的（n=81）

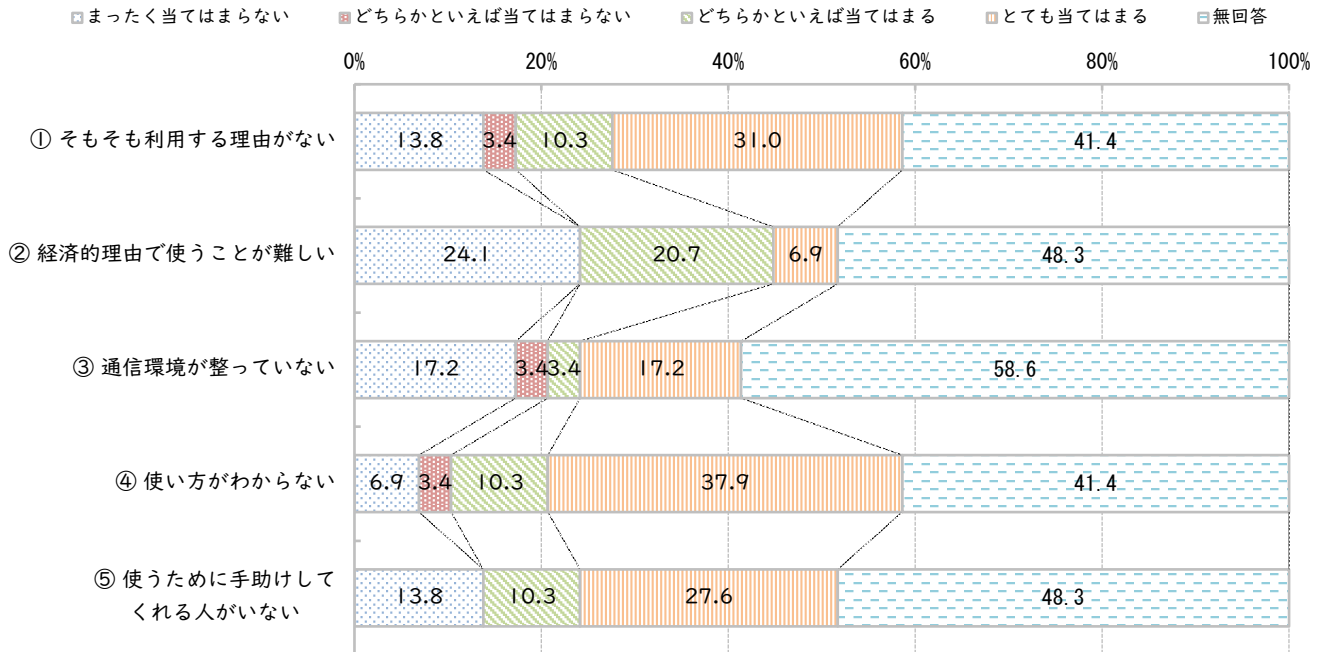


	全体	度数	割合 (%)
1	電話（通話）	75	92.6
2	LINE等の無料メッセージサービス	35	43.2
3	インターネットサイトの閲覧	20	24.7
4	電子メールの送受信	15	18.5
5	インターネットショッピング	11	13.6
6	SNSでの情報発信	5	6.2
7	その他	2	2.5
	無回答	2	2.5

2-5-3 情報通信機器を利用しない理由（各市町共通 問 24，SA）

情報通信機器を利用しないと答えた回答者の利用しない理由を項目ごとに、当てはまる順に高くなる順序尺度を聞いた結果は次のとおり。

図.表 2-5-3 情報通信機器を利用しない理由（n=29）



	全体	まったく当てはまらない	どちらかといえば当てはまらない	どちらかといえば当てはまる	とても当てはまる	無回答
① そもそも利用する理由がない	29	4 13.8	1 3.4	3 10.3	9 31.0	12 41.4
② 経済的理由で使うことが難しい	29	7 24.1	0 0.0	6 20.7	2 6.9	14 48.3
③ 通信環境が整っていない	29	5 17.2	1 3.4	1 3.4	5 17.2	17 58.6
④ 使い方がわからない	29	2 6.9	1 3.4	3 10.3	11 37.9	12 41.4
⑤ 使うために手助けしてくれる人がいない	29	4 13.8	0 0.0	3 10.3	8 27.6	14 48.3

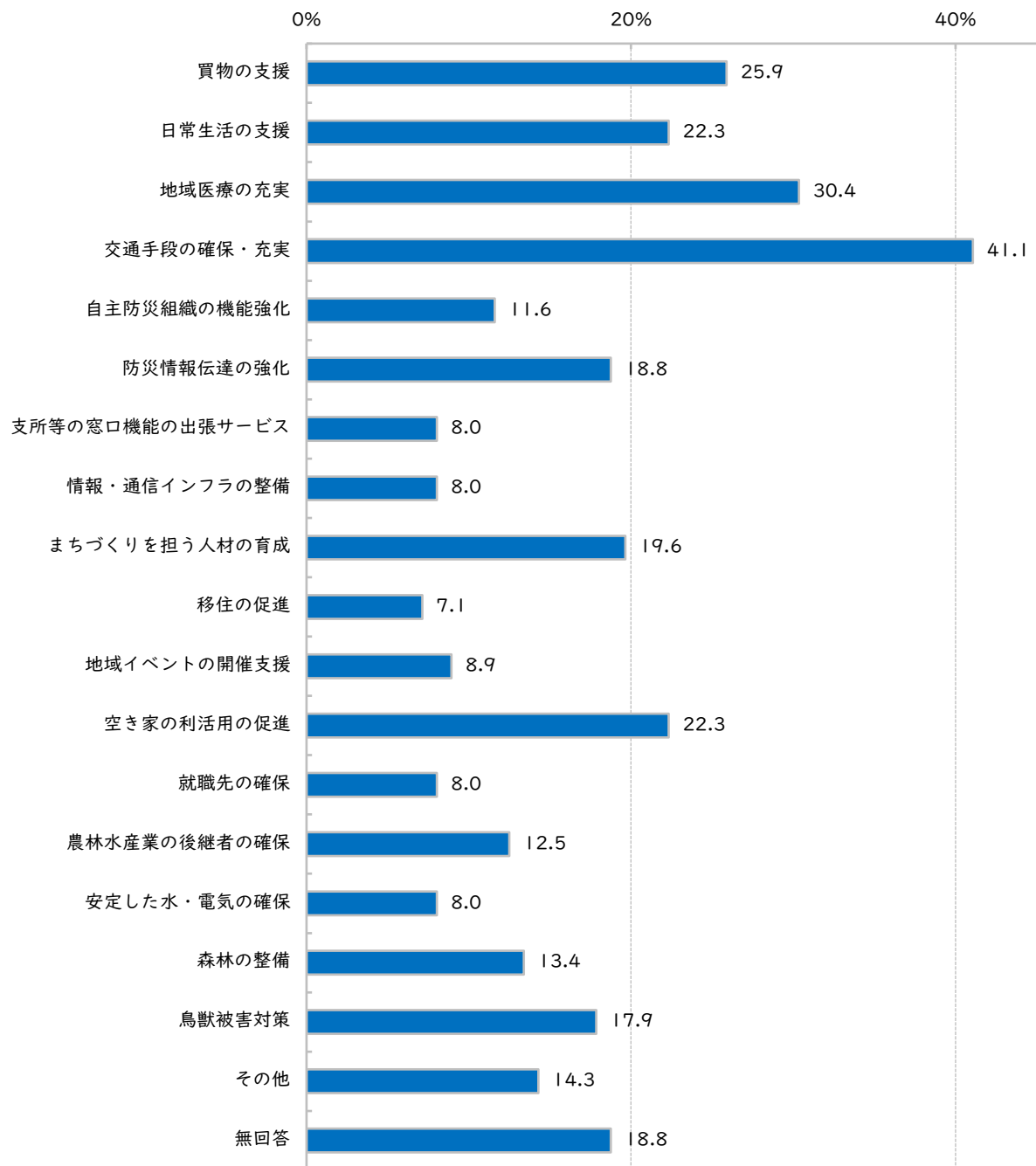
上段は度数、下段は割合（％）

2-6 暮らしの将来

2-6-1 住まいの地域への望ましい施策（各市町共通 問 25, MA）

回答者が住む地域への望ましい施策では、交通手段の確保・充実が最も多かった。

図.表 2-6-1 住まいの地域への望ましい施策（n=112）



	全体	度数	割合 (%)
1	買物の支援	29	25.9
2	日常生活の支援	25	22.3
3	地域医療の充実	34	30.4
4	交通手段の確保・充実	46	41.1
5	自主防災組織の機能強化	13	11.6
6	防災情報伝達の強化	21	18.8
7	支所等の窓口機能の出張サービス	9	8.0
8	情報・通信インフラの整備	9	8.0
9	まちづくりを担う人材の育成	22	19.6
10	移住の促進	8	7.1
11	地域イベントの開催支援	10	8.9
12	空き家の利活用の促進	25	22.3
13	就職先の確保	9	8.0
14	農林水産業の後継者の確保	14	12.5
15	安定した水・電気の確保	9	8.0
16	森林の整備	15	13.4
17	鳥獣被害対策	20	17.9
18	その他	16	14.3
	無回答	21	18.8

その他を選択した回答者の自由記述の全文は次のとおり。

- ・ 転倒時の起き上がりの補助。
- ・ 空き家の草木が茂って見苦しいので行政の負担で民間の人が手入れ出来るシステムでもあると助かります。
- ・ 空地の草やかずらが道路側にはみ出ている。少しの草は今の所主人が刈っている。どこに相談したら？地主は亡くなっている。
- ・ 病院の待ち時間が長い。
- ・ 全棟の階段の電気を明るくしてほしい。市は動いてくれない。
- ・ タクシーが少ない。
- ・ ゴミ出しのマナーが悪いので何か対策を考えてほしい。
- ・ 経年劣化で水回り，戸等。不具合が多くあるが「修理が出来ない」と応急処置で済まされる。それなのに家賃は上がり続ける一方。元とおりに修復出来ない所が多くなっていく為に不便を感じながらの生活をしている。不具合箇所に応じた家賃の見直しをお願いしたい。
- ・ 働く所がない（若い人）。
- ・ 今のところ運転が出来るので自分の事は出来ませんが後々は不安です。

回答者が望む住まいの地域への施策と年代のクロス表は次のとおり。

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	無回答
全体	112	0	0	1	7	17	33	42	9	3
買物の支援	29 25.9	0 0.0	0 0.0	1 100.0	2 28.6	1 5.9	9 27.3	11 26.2	5 55.6	0 0.0
日常生活の支援	25 22.3	0 0.0	0 0.0	1 100.0	2 28.6	3 17.6	10 30.3	5 11.9	4 44.4	0 0.0
地域医療の充実	34 30.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	5 29.4	9 27.3	16 38.1	2 22.2	0 0.0
交通手段の確保・充実	46 41.1	0 0.0	0 0.0	1 100.0	2 28.6	7 41.2	16 48.5	15 35.7	5 55.6	0 0.0
自主防災組織の機能強化	13 11.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	3 9.1	6 14.3	2 22.2	0 0.0
防災情報伝達の強化	21 18.8	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 14.3	3 17.6	8 24.2	6 14.3	2 22.2	0 0.0
支所等の窓口機能の出張サービス	9 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.1	4 9.5	2 22.2	0 0.0
情報・通信インフラの整備	9 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	3 9.1	3 7.1	2 22.2	0 0.0
まちづくりを担う人材の育成	22 19.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	5 29.4	6 18.2	8 19.0	1 11.1	0 0.0
移住の促進	8 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	2 6.1	2 4.8	1 11.1	0 0.0
地域イベントの開催支援	10 8.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	4 23.5	2 6.1	2 4.8	0 0.0	0 0.0
空き家の利活用の促進	25 22.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9	7 41.2	7 21.2	7 16.7	1 11.1	0 0.0
就職先の確保	9 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	2 6.1	4 9.5	0 0.0	0 0.0
農林水産業の後継者の確保	14 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	3 17.6	5 15.2	4 9.5	0 0.0	0 0.0
安定した水・電気の確保	9 8.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 9.1	5 11.9	1 11.1	0 0.0
森林の整備	15 13.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 17.6	5 15.2	7 16.7	0 0.0	0 0.0
鳥獣被害対策	20 17.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	3 17.6	8 24.2	5 11.9	3 33.3	0 0.0
その他	16 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	4 23.5	4 12.1	6 14.3	1 11.1	0 0.0
無回答	21 18.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	7 21.2	8 19.0	1 11.1	3 100.0

上段は度数、下段は割合（％）

2-6-2 生活や外出に困っている方向け支援への考え方（各市町共通 問 26，自由記述）

生活や買物・外出に困っている方への支援について日頃の考えを聞いた自由記述をユーザーローカル人工知能（AI）テキストマイニング（<https://textmining.userlocal.jp/>）で分析した結果は次のとおり。「病院」や「通院」といった，同じ意味をなすと考えられるものについては，調査実施者でまとめ，or を付記して表に記載した。

このほか，関連が伺われる出現1回の名詞として，「巡回」「車いす」「外出」「自治会」といった単語が散見された。

表 2-6-2 生活や外出に困っている方向け支援への考え方（n=27）

生活や外出に困っている方向け支援への考え方の自由記述頻出単語（名詞）					
品詞	単語	出現回数	品詞	単語	出現回数
名詞	病院or通院	8	名詞	乗り合い	2
名詞	利用	6	名詞	脳出血	2
名詞	高齢or高齢者	6	名詞	急患	2
名詞	支援	5	名詞	世帯	2
名詞	免許返納or 免許or返納	5	名詞	サロン	2
名詞	車	4	名詞	救急車	2
名詞	交通	4	名詞	子供	2
名詞	移動販売	3	名詞	ルート	2
名詞	タクシー	3	名詞	サービス	2
名詞	充実	3			
名詞	近所	3			
	バスorコ				
名詞	コミュニティ	3			
	バス				
名詞	買物	3			